

令和4年度 校内研究について

小川小中学校

1 研究主題

思考力、判断力、表現力を高める学習指導 ～子どもの実態に応じたアウトプット活動を通して～

2 目指す子ども像と研究仮説

本校は、児童生徒数は少ないが、一人一人の学びに向かう姿勢は積極的である。また、普段の授業から学習の振り返りを行うことで、自分の課題を自ら理解している。その反面、児童生徒数が少ないこともあり、他者と意見を練り合い、多面的・多角的に物事を見る学習の場を持つことが困難である。そこで、昨年度に引き続き本年度も思考力、判断力、表現力の育成を研究主題に設定した。そして、思考力、判断力、表現力を育む教育活動の構築を目指すために、小学校と中学校でそれぞれ子どもの実態を整理し、次のような子ども像を目指し、研究仮説を立て、実践と検証を行う。

	目指す子ども像	研究仮説
小学校	しっかり考え、伝えようとする子ども	算数科を通して、「お」「が」「わ」「しま」の中で、子どもの思考を促す視点を適宜用意しておけば、思考力、判断力、表現力が高まるであろう。
中学校	具体的に考え、対話する子ども	さまざまな教育活動において他者との意見交流を深めることにより、主体的に対話するコミュニケーション能力が身に付き、思考力、判断力、表現力が高まるであろう。

3 校内研究の経過

回	期日	内容
1	4月5日	前年度実践の振り返り 研究組織の確認 研究主題・研究仮説の検討 研究主題の副題と目指す子ども像の検討 研究の展望
2	5月12日	研究主題と研究仮説の決定 活動計画（公開授業、研究授業、気になるニュース等）
3	6月2日	小部会：公開授業と研究授業の計画 中部会：主体的なコミュニケーションの手立てについての検討
4	7月14日	小部会：個人の授業研修日程の決定 中部会：1学期の実践の振り返りとまとめ
5	9月8日	研究授業及び授業研究会（中2英語）
6	10月24日	研究授業及び授業研究会（小6総合的な学習）

4 今後の校内研究の計画

回	期日	内容
7	11月10日	研究授業及び授業研究会（小3算数）
8	12月7日	2学期実践の振り返りとまとめ
9	1月11日	1年間の研究実践の振り返りとまとめ
10	2月1日	研究紀要の編集
11	3月1日	本年度の実践の振り返り 来年度への展望

5 実践の内容

① 気になるニュース

毎週1回、朝の時間に担当者1名が新聞を使って気になるニュースを発表する。今年度は、生徒数が2名なので、教師も気になるニュースの発表を行った。また、多面的・多角的な意見を取り入れるために、加唐中の生徒(中3)と月1回程度「気になるニュース」の意見交換を行った。加唐中との意見交換では、Teamsの「会議」というシステムを用いて行った。また、生徒のICTの活用力を高めるために、意見交換を行う記事はパソコンで自分なりの言葉でまとめ、Teamsで直接データのやり取りを行わせるようにした。また、ニュースの記事の感想を伝え合うだけでなく、話し合いの柱を2つ用意し、それについて話し合うことで、活発な意見交換が行われ、それぞれの自分の意見を深めることができた(図1)。


気になるニュース 9月 9日 発表者 西岡 沙美	
①気になるニュースの内容 呼子の海中レストラン構想で「海の中の教室」が開かれた。佐賀、福岡から来た親子8組25人が参加し、釣りやイカのさばき方を教えてもらったそうだ。	③ニュースについての感想 発表者 西岡 沙美 プロの人にさばき方を教えてもらえるのはいい体験になるなと思った。ただ、釣りやイカのさばき方を学ぶだけでなく、親子でも楽しい時間を過ごせていいなと思った。
	聞き手2 西 悠樹 自然の良さを感じることができるいい体験だと思った。海の生き物について知るきっかけになり新しい発見がたくさんある活動だと思った。
	聞き手2 川野 芽依 話し合いの柱1 魚やイカなど、どのように調理して食べたいですか？ 話し合いの柱2 今、何か体験してみたいことはありますか？理由も教えてください。

図1 気になるニュースのワークシート

② スピーチ交流会

スピーチ者は小学校と中学校それぞれ1名とし、毎学期に1回スピーチを行う。自分で決めたテーマに沿ってスピーチ原稿を書き、必要な資料を自ら作成し発表の準備を行う。司会者もまた、スピーチ者が設定したテーマを踏まえて柱となるお題をいくつか考える。スピーチ交流会では、小学校1年生から中学校2年生までの幅広い学年が集まる場であるため、聞き手にわかりやすい資料を作成することや伝わりやすい言葉を選ぶことなど、発表を通して思考力、判断力、表現力を身に付けることができる。今年度は7月13日に第1回スピーチ交流会を行った。小学2年生は「夏休みにしたいこと」、中学1年生は「小川島の海のこと」という題でスピーチを行い、全学年での意見交換を行った(図2)。



図2 スピーチ交流会での発表の様子

③ 総合的な学習 (SDGsの観点から)

中学校では「小川島の海の豊かさを守ろう」をテーマに総合的な学習を行っている。昨年度からはSDGsの14番、15番を意識して学習に取り組んでいる。昨年度は「ウニの殻」に目を向けたが、今年度は海ごみの「ペットボトルのキャップ」に目を向けた。ペットボトルのキャップが色鮮やかできれいなことと、理科の学習でペットボトルについて学習したことから、ペットボトルのキャップを加工できるのではないかと考えたからである。ペットボトルのキャップから右のようなアクセサリーを製作した(図3)。アクセサリーの下の色鮮やかな部分は、ペットボトルキャップを小さく砕いて、アイロンで溶かして作った。この作品には、海のごみも有効に活用できることや、海の生き物を大切に守りたいとの思いが込められている。この作品は、先日行われた文化祭の「総合的な学習の発表」の場で島民の方に紹介し、20個ほどではあるが配布をした。



図3 海ごみから作ったアクセサリー

本校では、主に①、②、③の他者との交流を軸として校内研究を進めている。